

# 令和7年12月 東御市教育委員会 定例会会議録

---

## 1 日 時

---

令和7年（2025年）12月24日（水）午前9時から午前10時30分まで

## 2 場 所

---

中央公民館 学習室5

## 3 議 題

---

### （1）協議（審議・検討）

議案第55号 就学指定校変更の認定について

議案第56号 東御市特定乳児等通園支援事業者の確認の手続きに関する規則

### （2）重点取り組み

ア 不登校対応について

イ 部活動の地域移行について

ウ 児童の体力向上について

### （3）報告

ア 教育委員会

（ア）12月議会の一般質問について

イ 教育課

（ア）いじめの状況等について

（イ）就学援助費の支給認定について

（ウ）食育事業の実績について

（エ）小中学校の入学式の日程について

（オ）卒業式・入学式の担当について

ウ 保育課

（ア）入園式の日程について

エ 地域づくり支援課

（ア）子ども・若者育成支援強化月間の取組結果について

(イ) 新春書初め大会について

オ 文化・スポーツ振興課

(ア) 上田地域図書館情報ネットワーク図書館システムの更新について

#### 4 出席者

○教育長

山口千春

○教育委員

教育長職務代理者

小林 経 明

委員

直井良一

委員

五十嵐 英 美

委員

小林利佳

委員

富岡 志津子

○その他

滝澤教育次長、土屋教育課長、春原保育課長、

小林学校教育係長、小宮山学校施設係長、池田学校人権同和教育係長、

大塚保育係長、金井和保育園長、

塚田指導主事、宮下指導主事、岡澤指導主事、田中指導主事、

塚田学校教育係主任、中村青少年係主任、小島青少年健全育成専門指導員、

瀬下図書館長

## 会議録

---

滝澤教育次長

ただいまから、12 月度定例教育委員会を始めます。それでは、教育長から開会宣告をお願いします。

山口教育長

それでは、12 月度定例教育委員会を始めます。

滝澤教育次長

続きまして、教育長あいさつをお願いします。

山口教育長

本日はお集まりいただきありがとうございます。

特別支援教育に関わる教職員の研修の 1 つとして、10 月 9 日、10 日に国立特別支援教育総合研究所の研究員が来訪される授業参観、情報交換等を行いました。資料にはグループ SST の指導案の一部をお示ししています。この内容は、特性のあるなしに関わらず、どんな子どもたちにも応用できる留意点だと感じます。このような指導・支援がどの教室でも意識して実践されていくことが、子どもたちが安心して授業を受け、安心して自分の思いや気持ちが語れ、他の子どもたちがクラスメートの思いや気持ちをしっかりと聞き、受け入れていく学級づくりにつながっていくと思います。更に個別最適な学び、探究的・協働的な学びにつながっていくと思います。また、ユニバーサルデザイン化にも繋がると思われます。どの学校でも「授業改善」を目指して様々な取組が行われています。子どもたちと一緒に学んでいく教師の姿勢や具体的な声かけとして、大きなヒントになると考えます。教師自身の人的環境と教室や教具などの物的環境を見直すチェック項目にもなりうると思います。

先日の校長会、教頭会では、教室には様々な特性や程度や種類が違う障がいのある子どもたち、人数は少ないですが日本語が苦手な子どもたちなどがいる中で、一方通行の講義式の授業の打破や、学習の道筋や個別学習、タブレット活用等の方法が複数ある授業展開に挑戦する教師集団を目指したい、先生も子どもと一緒に学ぶ環境づくりの構築を自校の先生方と共に進めていきたいと思います、話をしました。

11 月 27 日には、滋野小学校の 6 年生が台湾の小学校の 6 年生と英語交流を行いました。この交流は、英語専科教員が県から話をいただいて実施したものです。タブレットを使って、自己紹介や地元の「推し」の紹介を英語で行いました。これまで実施してきたモルドバとはまた違い、時差が少なく、交流時間がとりやすい良さがあります。両国の 6 年生が混ざった小グループで、タブレットの画面越しに順番に発表していきました。写真やイラ

ストを見せながらの発表や、実際にけん玉を紹介する台湾の6年生もいて、驚きや笑いもあり、楽しく交流しました。3学期には、田中小学校の5年生での実施を計画しています。児童からは、「台湾の人たちに自分の気持ちや日本のことをうまく伝えられた。」、「国が違う人たちとやったけど、けっこう英語を言えたし、楽しくできてよかった」等の感想がありました。英語を介して実際にできた経験は、今後の学習へのモチベーションにもなっていくと思われます。

小中学校は今週で冬休みに入ります。年明けからまたよろしくお願いします。

(1) 協議（審議・検討）

山口教育長

議案第55号 就学指定校変更の認定について、この内容は、個人情報を含むため秘密会としてよろしいでしょうか。

全委員

異議なし。

山口教育長

それでは秘密会とします。

続きまして、議案第56号 東御市特定乳児等通園支援事業者の確認の手続きに関する規則について、説明を求めます。

大塚保育係長

この規則は、令和8年4月から開始されるこども誰でも通園制度に関係する規則です。こども誰でも通園制度は、令和8年度から子ども・子育て支援法に規定された給付事業としてスタートしますが、同法の規定により、市町村は保育施設等が提供する支援・サービス内容がその給付事業として適当かどうかを確認する必要があります。この確認を行うための基準は、12月議会で可決いただいた東御市特定乳児等通園支援事業の運営に関する基準を定める条例がありますが、この規則はその確認の申請等に係る必要書類等の手続きを定めるものになります。施行日は、令和8年4月1日です。

山口教育長

この内容について、いかがでしょうか。

全委員

異議なし。

山口教育長

それでは、承認ということでお願いします。

続きまして、(2) 重点取組みに移ります。ア 不登校対応について、説明を求めます。

塚田指導主事

ア 不登校対応について、説明します。(個人が特定される情報は非公開)

各校から報告があった児童生徒は、小学校 41 人、中学校 88 人です。30 日以上長期欠席の中で理由が「不登校」の児童生徒数は、小学校 18 人、中学校 45 人で、いずれも前月から増加しています。小中学校からの報告内容を精査した際に 11 月報告で気になったことは、心の病の診断が出ている児童生徒の中で 30 日以上欠席している児童生徒が把握しているだけで 8 人いることです。学校、子どもサポートセンター、医療機関が連携して支援にあたっています。家庭環境の調整が必要な児童生徒も含めて、不登校・長期欠席の要因が複層化しており、学校も支援の方向を決めだすのに悩んでいることがコメント欄から考えられます。

12 月中旬に各校を訪問し、「令和 8 年度の集団不適應・不登校対応体制」の構想をお聞きしてきました。その結果を基に、東御市全体の「集団不適應」「不登校」対応の指針を明確にしていきたいと思えます。

山口教育長

塚田指導主事と一緒に各校を訪問してきましたが、校長、教頭が非常に真摯に対応している様子が見られました。具体的な内容が示されており、感動しました。前向きにとらえ、学校ごとの課題が明確になっていました。

続きまして、イ 部活動の地域移行について、説明を求めます。

塚田指導主事

現在行っている先行モデルケースの状況です。サッカー部、ソフトテニス部、卓球部については、特に大きな変化はありません。

12 月 2 日に東部中学校で中学校新入生保護者説明会がありました。その際に、「休日の部活動は令和 8 年度末までに地域移行完了を目指すこと」、「平日の部活動は地域移行が可能になった種目から柔軟に対応すること」、「移行の際は関係する生徒保護者に丁寧な説明をしながら進めること」、「平日の地域移行が完了しない限り、『部活動』は維持されること」という 4 点について説明しました。校長からもしっかりとした説明があり、「部活動の地域移行が動いている」ということを冷静に受け止めていただいているという印象を受けました。なお、北御牧中学校は 2 月 13 日に説明する予定です。

直井委員

国の方でライドシェアへの補助があるという話があります。運転手は自治体職員が登録する等という方法もありますが、いかがでしょうか。移動手段については、保護者にとっても課題があるところです。

塚田指導主事

現時点では、県の方向が示されていません。国県の動向を念頭に置いたうえで、市でできる移行を丁寧に進めていきたいと思っています。

山口教育長

続きまして、ウ 児童の体力向上について、説明を求めます。

金井和保育園長

今年度保育園では、こどもたちの体力向上に向けて、3歳未満児からの遊び、体づくりに着目しています。今回の資料はあそび部会が主体となり、0歳児から年長児までの育ちと遊びの繋がりを保育実践に繋ぐ職員ワークの様子です。今回はこの取り組みについて報告します。

まず、職員一人ひとりが、こどもの運動の「苦手」が増えていること、園生活の中で大怪我が増えている現状と小さい頃からの経験の積み上げがうまくできていないことといった課題を再認識しました。そこから、3歳未満児から3歳以上児と遊びの経験が繋がっているのか見直しが必要なことに気づき、職員ワークにつなげていきました。ここで言う経験の繋がりとはい、小さい頃からの一つ一つの遊びや経験が次の段階の遊びを楽しむための土台となって積み上がっていることです。その反面、苦手やできない、大怪我が背景には、経験の繋がりがどこかで途切れてしまっているのではないかと考えました。

和保育園ではブランコをテーマに保育実践に繋ぐ職員ワークを行いました。例えば、3歳くらいになり、ブランコに乗った時の不安定さや揺れで手を放して落ちそうになったり、実際に落ちてしまったり等の怖い経験によってブランコに乗ることをやめてしまうということがあります。そこで、職員ワークを通して、ブランコに乗るまでの3歳未満児の繋がる遊びを考えました。バランスをとる遊びの経験、協応動作・ゆれる・つかむ遊びの経験、体幹を鍛える遊びの経験等が必要であると考えを出し合い、現在は様々な遊びを保育に取り入れています。この他、園ごとにテーマとなる遊びを通して職員ワークを行いました。

こどもたちが運動に対して苦手意識を持ち始める前に楽しい経験を積み、幼児期から体力向上に繋がるよう活動していきたいと考えています。

山口教育長

今回の資料は、どこかに掲示されているのでしょうか。

金井和保育園長

各園に掲示されており、保護者の方にも見てもらえるようになっています。

山口教育長

小中学校の体力テストの結果については今後どのような対応になりますか。

塚田指導主事

1月上旬に県教委から小中学校の体力テストの結果が公表されます。今後、定例教育委員会にて報告する予定です。

山口教育長

続きまして、(3) 報告に移ります。ア 教育委員会から報告をお願いします。

滝沢教育次長

(7) 12 月議会の一般質問について、報告します。

12 月議会において、再質問も含め、3 名の議員から一般質問がありました。質問の要旨は資料のとおりです。

(一般質問の要旨と答弁内容について説明)

山口教育長

続きまして、イ 教育課の報告をお願いします。

岡澤指導主事

(7) いじめの状況等について、報告します。(個人が特定される情報は非公開)

今回の報告では、中学校からの報告が多くありました。その中で、SNS を使ったいじめがありました。ネットリテラシー教育は既に行っていますが、使い方の説明、使用ルールを守ることだけでなく、実際にどんなことが起こったのか、その結果どうなったのか等具体的な事例を用いた教育をしていかなければいけないと思われます。

塚田学校教育係主任

(イ) 就学援助費の支給認定について、報告します。(個人が特定される情報は非公開)

小宮山学校施設係長

(ウ) 食育事業の実績について、報告します。

今年度実施した食育事業の実績に関する報告です。

1 つ目はアスリート食事体験です。9 月 16 日、一部の学校で 17 日に全小中学校を対象



として実施し、今年のモデルクラスは田中小学校6学年でした。湯の丸アスリート食堂で提供されているメニューを学校給食用にアレンジして提供しました。また、「かに風味フレーク」、「速筋たんぱく鰯ちくわ」は、株式会社ニッスイから食材提供を受けています。その他、アスリート食堂を利用している選手のインタビュー動画の放映やチラシの配布、モデルクラスでは競泳五輪金メダリストの金藤理絵による特別講義を実施しました。この事業を通して、子どもたちがアスリートパーク湯の丸やアスリートの食事に興味を持つとともに、体づくりに関する食事の重要性を感じる機会となりました。

2つ目は地元農産物に関する食育です。昨年度は滋野小学校でブドウ栽培について実施しましたが、本年度は北御牧小学校の5学年を対象に米について実施しました。地域生産者から農業の魅力等の発信をしてもらうことで、地域食材の利用促進を図るとともに、児童の農業に対する興味関心につなげたいという目的のもと、長野県の県政出前講座を活用し、八重原米を生産している地元の農業者に講師として参加してもらいました。地元農業者であり、児童も知っている方であることから、子どもたちも大変熱心にいろいろな質問をしている様子がみられ、満足度が高かった事業となりました。

3つ目は市内統一献立です。今年度は4回実施し、季節ごとに地域食材の利用や郷土食の提供により市やその周辺の食文化について児童理解を深める目的で実施しました。給食時に校内放送を使って市の特産品や地域食材の良さについて伝えることができました。

来年度においても、学校側のご意見等もお聞きしながら、様々な食育を同時に進めたいと考えています。

#### 宮下指導主事

(エ)小中学校の入学式の日程について、報告します。

来年度の入学式は、4月6日（月）の午前中が小学校、午後が中学校という日程での実施を予定しています。

#### 小林学校教育係長

(オ)卒業式・入学式の担当について、報告します。

今年度の卒業式、来年度の入学式の当番表を作成しました。それぞれ出席していただく学校を記載しましたのでご確認ください。

#### 山口教育長

続きまして、ウ 保育課の報告をお願いします。

#### 春原保育課長

(ア)入園式の日程について、報告します。

保育園の来年度の入園式は、4月2日の午前中での実施を予定しています。出席してい

ただ園は各委員担当されている園となります。

山口教育長

続きまして、エ 地域づくり支援課の報告をお願いします。

小島青少年健全育成専門指導員

(ア) 子ども・若者育成支援強化月間の取組結果について、報告します。

11 月は子ども・若者育成支援強化月間として 5 つの事業を実施しましたので、その内容を報告します。

11 月 4 日に田中駅前、滋野駅前を中心とした駅前街頭啓発活動を実施しました。こちらは副市長、教育長にも参加いただき、青少年の健全育成運動の啓発、自転車盗難等を未然に防ぐための防犯啓発、清掃活動を行いました。

11 月 8 日には、岡谷市で開催された長野県青少年健全育成県民大会に参加しています。こちらには市民会議のメンバー 16 名が参加しました。

11 月 13 日には、東御清翔高校周辺から田中駅前商店街までの間の美化運動を実施しました。この活動には東御清翔高校 PTA 校外指導補導委員、PTA 役員、生徒も参加しています。

このほか期間中に市内 5 地区別に各店舗のチェック活動として、青少年の動向調査、健全育成に不適切な商品が置かれていないか等の確認を行いました。この期間に関わって、12 月 13 日に信州大学の佐藤広英准教授を講師に迎え、ネットリテラシー講演会を実施しました。

中村青少年係主任

(イ) 新春書初め大会について、報告します。

年明け 1 月 6 日に中央公民館講堂で新春書初め大会を行います。市内の小中学生、その保護者を参加対象としており、今回は 73 名の申込みがありました。文化協会書道部会の会員にご指導をいただいて実施します。当日書いた中で、1 番良い作品を中央公民館 2 階ロビーに展示する予定となっていますので、教育委員の皆様もぜひご覧いただければと思います。

山口教育長

続きまして、オ 文化・スポーツ振興課の報告をお願いします。

瀬下図書館長

(ア) 上田地域図書館情報ネットワーク図書館システムの更新について、報告します。

今年度、図書館システムの更新が実施されます。本日から、市立図書館のシステム更新が始まっています。学校連携における学校への図書の貸し出し等については、例年通り 12

月末をもって終了となり、再開は4月以降となります。

図書館情報ネットワーク図書館システムの更新業務についてです。公立図書館においては1月8日までにシステム更新を行い9日から新しいシステムが始動します。上田地域のエコールネットワークは学校図書館と連携をしており、公立図書館の作業は終わり次第、上田地域広域連合管内の小中学校順次、学校図書館システムの更新を進めていきます。市内小中学校については、1月26日からシステムの更新が入る予定で既に学校に知らせています。機器の更新を行い、正式な稼働は令和8年度からの開始となります。

山口教育長

それでは、12月度定例教育委員会を閉会します。